

臨床研究情報

当院でアントラサイクリン系薬剤による治療を受けられた患者さん・ご家族様
へご協力をお願い

NTT 東日本関東病院循環器内科では、以下の臨床研究を実施しております。

この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用して欲しくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局へご連絡ください。

研究課題名

アントラサイクリン系薬剤使用患者の心血管合併症に関する後ろ向き解析

研究実施機関

NTT 東日本関東病院 循環器内科

研究責任者

循環器内科 進藤彰人

研究の意義と目的

様々ながん（主に白血病、リンパ腫、乳がん、肉腫など）の治療に使われるアントラサイクリン系薬剤（ドキシソルビシン、エピルビシン、イダルビシン、ダウノルビシンなど）には心毒性があり、がん治療中あるいは治療後に心不全などの心血管合併症が生じることがあります。海外からの報告では、平均 300mg/m² 程度のドキシソルビシンを投与された患者のうち、約 10%で心機能低下が生じ、そのほとんどが治療終了後 1 年以内であることが報告されています。かつてはこれらの心機能低下は不可逆的と考えられており、予後の悪い重症な心不全を発症する方も多くいましたが、近年では早期に治療介入できればある程度の改善が得られることも知られています。上記を踏まえ、NTT 東日本関東病院では、アントラサイクリン系薬剤投与による心機能低下の予防・早期診断・早期治療のため、2019 年 12 月よりフローチャートを用いて、循環器内科とがん診療科の連携を強固にして診療を行っています。アントラサイクリン系薬剤使用患者を後ろ向きに解析し、心血管合併症を起こしやすい患者群の同定や、採用したフローチャートが有効であったかの評価、などを行い、その結果を元にフローチャートの改定や、診療方法の変更を行います。これにより、がんの治療は奏功したにもかかわらず心疾患で苦しむ患者さんを減らしたり、運悪く再発してしまった際に、心疾患が原因で十分ながん治療が行えな

い患者さんを少しでも減らし、がん患者さんが安心して治療を受けられるような体制を整えられます。

対象となる方

2014年4月1日から2024年3月31日までにNTT東日本関東病院でアントラサイクリン系薬剤を投与された患者

実施方法

対象患者さんのカルテから得られるデータを後ろ向きに収集し、患者背景（年齢、性別、併存疾患、がん種、血液検査結果、生理検査結果、画像検査結果など）、臨床情報（心血管疾患発症の有無、予後（がんの再発や総死亡））などを解析します。

実施期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日まで

個人情報の取り扱い

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように匿名化して扱います。

学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は5年間保管いたします。保管期間終了後、本件急に関わる記録・資料は個人が特定できない形で破棄します。

費用

患者さんに発生する費用負担はありません。

利益相反

本研究に関連する利益相反はありません

同意の撤回

ご本人または、その代理人の求めがあれば情報を破棄いたします。ただし、すでに解析を終了している場合には、その結果を破棄することが出来ません。ご自分のデータの使用をお断りになっても、治療に不利益を受けることはありません。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 循環器内科 進藤彰人
東京都品川区東五反田 5-9-22
電話番号 03-3448-6111 (代表)